

第7節 加入金

1. 加入金の取扱いは、給水条例第30条による。

給水条例第30条（加入金）

給水装置の新設又は改造（給水管の口径を増す場合に限る。以下この条において同じ。）をする者から水道加入金（以下「加入金」という。）を徴収する。

2 前項の加入金は、工事の申込みの際徴収する。

3 既納の加入金は、還付しない。ただし、工事着手前に工事を取りやめた場合又は工事中の設計変更により生じた差額については、この限りでない。

4 加入金は、別表第2に定める額とする。

別表第2(第30条関係)

| 給水管口径 | 加入金の額(円) |
|-------|----------------------------|
| 13mm | 63,800 |
| 20mm | 105,600 |
| 25mm | 268,400 |
| 30mm | 493,900 |
| 40mm | 888,800 |
| 50mm | 1,523,500 |
| 75mm | 3,949,000 |
| 100mm | 7,756,100 |
| 150mm | 21,717,300 |
| 200mm | 口径別の断面積比及び流量比を考慮して管理者が定める額 |

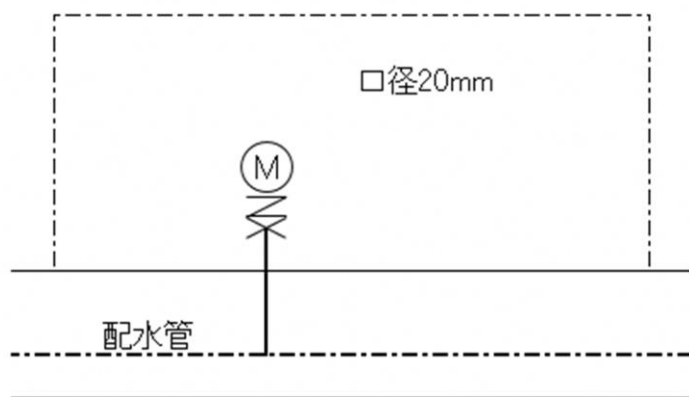
備考

給水装置を改造する場合の加入金の額は、改造後の口径に係る加入金の額と改造前の口径に係る加入金の差額とする

2. 加入金取扱の例を、次頁に示す。

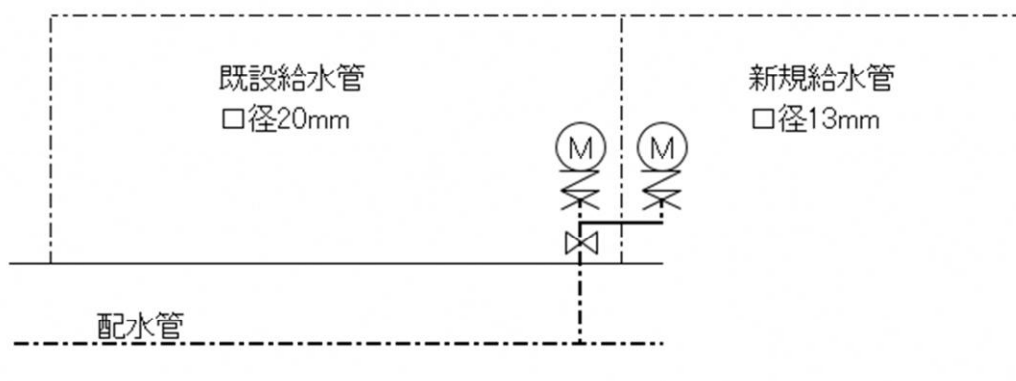
加入金取扱い例

(1) 新設標準



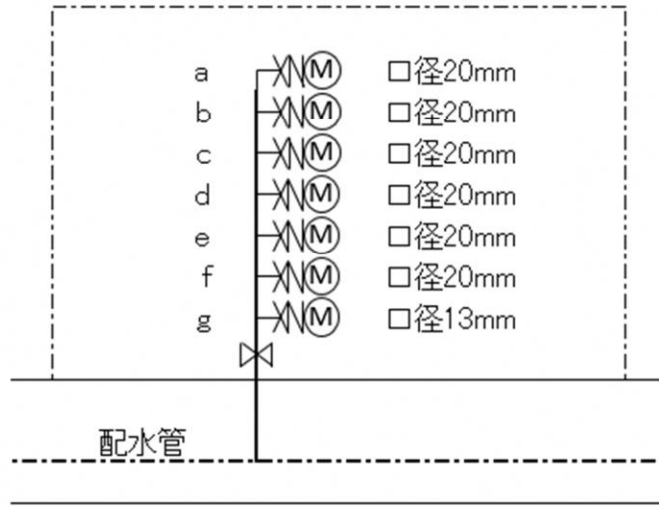
加入金 **105,600円**

(2) 新設支管分岐



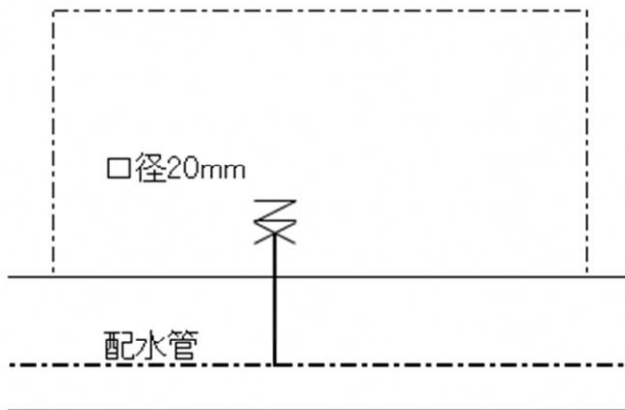
加入金 **63,800円**

(3) 新設(連合線)



加入金 a~f: **105,600円×6 栓**
g: **63,800円**

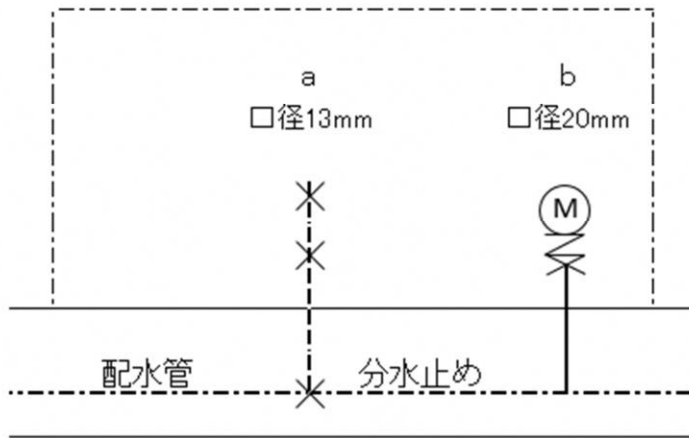
(4) 流未未完



量水器筐を設置し、
逆止弁付ボール伸縮止水栓
まで施工する

加入金 **105,600円**

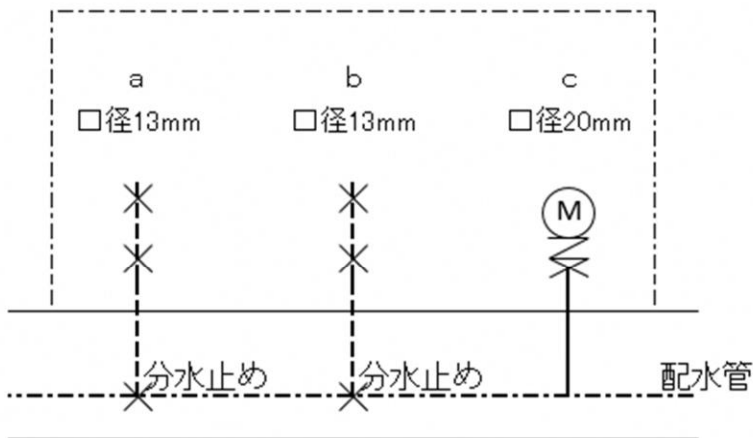
(5) 改造(増径—1)



13mm(a)を撤去して、20mm(b)を設置する。
お客様番号はaからbに引き継ぐ。(改造工事扱い)

加入金 **41,800円**(20mmと13mmの差額 **105,600円 - 63,800円**)

(6) 改造(増径—2、同一敷地内のみ)



13mm×2 栓(a, b)を撤去して、20mm(c)を設置する。
13mm×2 栓(a, b)の加入金を、20mm(c)へ移譲する。
この際、余剰となる **22,000円**は還付しない。(**105,600円 - 63,800円×2 = -22,000円**)
お客様番号はaからcに引き継ぎ(改造工事扱い)、bは廃止する。

加入金 **0円**

